

ワーク・ライフ・バランスとは？

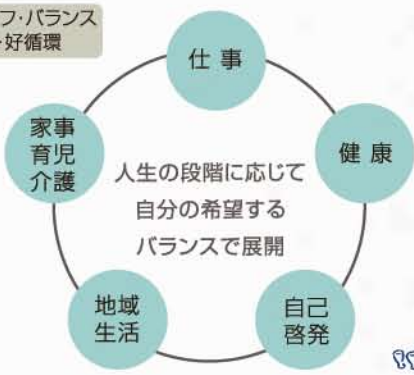
ワーク・ライフ・バランスが実現した社会とは、一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会のこと。

「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」より

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)は、わたしたち一人ひとりに関わることです。その時々で何を大切に、どれだけ時間をかけるかは、人生のライフステージに応じて変化するもの。

仕事、家庭生活、健康・休養、地域生活、勉強・自己啓発、趣味・余暇など人生にとって大切にしている様々なことが、希望するバランスで生活の中に展開できるよう、皆さんも自らのワーク・ライフ・バランスのあり方を考えてみませんか。

ワーク・ライフ・バランスの相乗効果・好循環



個人のメリット

ワーク・ライフ・バランスの取組を推進するとどうなる？

家事・育児・介護などの家庭生活と仕事の両立

働きやすい制度や職場風土により、男性も女性も子育てや介護などのライフステージに合わせた働き方ができ、経済的な安定につながります。

自己啓発や地域活動に参加できる

多様な活動に参加することができ、アイデアの引き出しや人脈が広がります。

心と身体を健康を保つことができる

業務の見直しや長時間労働の改善により、過労を防ぎ、休暇の取得などで心身のリフレッシュができるようになります。

わたしたちは仕事と生活の調和の推進に取り組む団体です

仕事と生活の調和推進会議しが

経済・労働団体、地域団体、行政など関係者が一体となって仕事と生活の調和の推進に取り組み、社会的気運の醸成と着実な実践を図るため、平成20年6月に関係16団体で立ち上げました。



主に推進していること

- **多様な働き方を可能にしよう!**
結婚、出産、子育てや介護といった各々のライフスタイルに応じた多様で柔軟な働き方の実現に取り組んでいます。
- **"ゆとり"と"やる気"を生み出そう!**
企業と労働者双方の理解と協力のもと、労働者のゆとりとやる気を生み出し、生産性の高い働き方につなげるよう、長時間労働の抑制や各種休暇の取得促進、自己啓発の促進などに取り組んでいます。
- **社会で子育てを支えよう!**
保護者が地域社会の多様な関わりや支援のなかで、喜びを感じながら安心して子育てができるよう、社会全体で子どもと家族を応援する環境づくりに取り組んでいます。
- **多様な生き方を尊重しよう!**
性別、既婚・未婚、子どもの有無などに関わらず、すべての人を対象に、自らが希望する生き方・働き方が選択できるよう、多様な生き方の選択を尊重する意識の醸成に取り組んでいます。

(平成20年11月21日「仕事と生活の調和の実現に向けた共同アピール」をもとに作成)

仕事と生活の調和推進会議しが 構成団体

- ・滋賀県商工会議所連合会
- ・滋賀県商工会連合会
- ・滋賀県中小企業団体中央会
- ・滋賀経済同友会
- ・一般社団法人滋賀経済産業協会
- ・公益社団法人びわこビジネスマンビューロー
- ・日本労働組合総連合会滋賀県連合会
- ・滋賀県社会保険労務士会
- ・滋賀子育てネットワーク
- ・有限会社でじまむワークス
- ・特定非営利活動法人しみんふくし滋賀
- ・生活協同組合コープしが
- ・滋賀県市長会
- ・滋賀県町村会
- ・滋賀労働局
- ・滋賀県



長い旅
あなたがのぞむ
バランスで



11月は
仕事と生活の調和
推進月間です

ワーク・ライフ・バランスで 充実した毎日を!

仕事と生活のバランスは、あなたの希望どおりですか？
あなたの望むバランスで、仕事も生活も充実させましょう!

お問い合わせ先

滋賀県総合政策部男女共同参画課
〒520-8577 大津市京町4丁目1-1
TEL/077-528-3070 FAX/077-528-4807
E-mail/ct00@pref.shiga.lg.jp



企業の
メリット

ワーク・ライフ・バランスの
取組は、明日への投資!

ワーク・ライフ・バランス(=WLB)とは、決して“ほどほどに働こう”
というものではありません。従業員が“より長く働き続けられるように”
“より成果を出せるように”するための新たな時代の経営戦略、つまり
明日への投資なのです。

多くの企業が抱える課題

ワーク・ライフ・バランス経営を導入する前

- ① 優秀な人材の確保が困難
例) 採用の場面で優秀な人材が集まらない
・育成してきた従業員の離職や出産・育児を機とした女性の離職
- ② 仕事の生産性が低い
例) 業務の効率化ができておらず、無駄な残業がある
- ③ 従業員の心身の健康が心配
例) 過度のストレス、過重労働が常態化しているため
いつ倒れてもおかしくない

スタート
WLB

こんな現状を打開したい!

働きやすさの向上と
業務の効率化

ワーク・ライフ・バランス経営を導入した後

- ④ 優秀な人材の採用と定着!
・現在の若者は、仕事と生活のどちらも重視したいという勤務観をもつ人が多数派です。ワーク・ライフ・バランスに取り組むことで優秀な人材の採用が可能になります。
・雇用している有能な人材の離職を防ぐことにつながり、新たな従業員を採用・育成するコストが不要になります。
- ⑤ 従業員の満足度や仕事への意欲の向上!
・従業員の抱える様々なニーズに応えることにより、従業員の満足度や仕事への意欲が高まります。
- ⑥ コスト削減!
・離職や病気休職等を回避できることにより、人事コストが削減できます。
・長時間労働の是正により、残業代や光熱費が削減できます。
- ⑦ 生産性の向上!
・業務の効率化等を進めることにより、生産性が向上します。

実践

滋賀県内の企業で取り組まれた実践例の紹介

実践例1

残業 10 時間削減

一人当たりの1ヶ月平均残業時間(H24年実績)

栗東市 ● 事業内容 製造機械の設計・製造・据付け
● 従業員数 23名

導入目的

- ・企業の体質強化のため、意識改革を進めたい。
- ・残業状況があたりまえの雰囲気を改善し、不要な時間外労働を削減したい。

改善方法

- ・作業項目や残業時間など業務状況を見える化。残業する場合は、申告しチーム内で検証の上、仕事の割り振りを行った。
- ・社内に勤務環境改善委員会を設置しアイデアを募集した。

単に残業時間の削減や休暇取得率の向上だけでなく、業務効率や従業員のモチベーションが向上しました。何より従業員の中に「改善していこう」という意識が芽生えました。

実践例2

年休 100% 達成

従業員の1年間の取得率(H23年実績)

草津市 ● 事業内容 テレマーケティング事業
● 従業員数 27名

導入目的

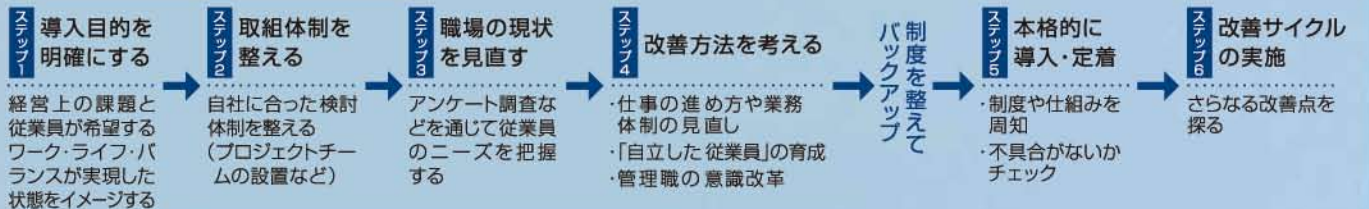
- ・従業員の連帯意識とモチベーションアップを図りたい。
- ・長期休暇はNGという社内風土を改善し、仕事にメリハリをつけたい。

改善方法

- ・従業員だけでなく管理職に対しても積極的な休暇取得を推奨し、「お互い様」の意識を醸成した。

「従業員を大切にしている企業」としてイメージが良くなりました。その結果、求人への応募が増加し、質の高い社員を採用できました。また、従業員のプライベートが充実し、仕事にメリハリができた離職者も減りました。

ワーク・ライフ・バランス経営導入の手順



登録募集

「滋賀県ワーク・ライフ・バランス 推進企業」への登録はお済みですか?

滋賀県では、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業を募集しています。ワーク・ライフ・バランスに取り組んで“明日への投資”を始めましょう!

詳しくは「滋賀県」ホームページをご覧ください

しがのワーク・ライフ・バランス

検索

Click

これからの時代に
あった企業を
めざそう!